

論文 Article

広島県東広島市旧西条町内に分布する石碑の特徴と 社会科教材としての意義

今井貴秀¹・横川知司¹・氏原 秀¹・竹下紘平¹・陶 子¹・潘 意涵¹
江頭千尋²・鎌田祥子³・鎌田祐介⁴・中村勇介⁵・復本真利江⁶・藤本理志⁷
橋本訓典⁸・村田 翔¹・弘胤 佑¹・熊原康博⁹

**Characteristics of the stone monuments in Saijo, Higashi-Hiroshima City, southwest Japan,
and their significance for teaching materials of social studies.**

**Takahide IMAI¹, Satoshi YOKOGAWA¹, Shu UJIHARA¹, Kohei TAKESHITA¹, Zi TAO¹,
Yihan PAN¹, Chihiro EGASHIRA², Shoko KAMATA³, Yusuke KAMADA⁴, Yusuke NAKAMURA⁵,
Marie FUKUMOTO⁶, Satoshi FUJIMOTO⁷, Kuninori HASHIMOTO⁸, Sho MURATA¹,
Yu HIROTANE¹ and Yasuhiro KUMAHARA⁹**

要旨：本稿の目的は、広島県東広島市旧西条町に分布する石碑の特徴を明らかにすると共に、小学校や中学校社会科の地域学習における石碑の教材的意義を検討することである。調査の結果、202基の石碑が確認され、寺社や公共施設、溜池などに石碑の立地が多くみられた。石碑の建立年との関連を検討すると、第二次世界大戦の終戦を境に、石碑の主な建立目的が地域社会に貢献した人物や行為の顕彰から、寺社への寄附に関連したものへと変化していったことが明らかになった。社会科教材としての意義については、1) 学習指導要領への適合と2) 石碑の情報量という観点から検討を行い、石碑のもつ教材的意義を3つに分類した。各分類において、具体的な活用方法を考察し想定される学習の展開を提示した。本稿は、「地域学習」の不振の要因のひとつである、地域に即した資料の不足の改善の一助になると期待される。

キーワード：石碑、地域学習、東広島市、旧西条町、社会科

Abstract: An objective of this study is to clarify the characteristics and distribution of the stone monuments in Saijo, Higashi-Hiroshima City, Hiroshima Prefecture, and discuss their significance for elementary and junior high school social studies teaching materials. Two hundred two monuments were recognized in this area. They were mostly located in temples, shrines, public institutions, roadsides, and irrigation ponds. The purpose of erecting monuments has changed over 150 years from the Meiji era to the present day, which reflects the transition of the history of the local community or local people's consciousness about their community. All monuments were classified into three levels considering their significance for elementary and junior high school social studies teaching materials: i.e., A. Useful and sufficient information; B. Useful but insufficient information; and C. Others. As a result, we defined 6 monuments as level A, 71 as level B, and 125 as level C. We propose an example of a social studies teaching plan including information about the monuments according to each level. The monuments directly provided information about the history of the local community and the location of historical events; therefore, the teaching plan using information about the monuments has possibility to improve for social studies.

Keywords: Stone Monument, Community Learning, Higashi-Hiroshima City, Saijo, Social Studies

1 広島大学大学院教育学研究科院生；Graduate student, Graduate School of Education, Hiroshima University

2 佐賀トヨペット（株）；Saga Toyopet Co Ltd

3 福山暁の星女子中学・高等学校；Fukuyama Akenohoshi Girl's Junior Senior High School

4 修道中学・高等学校；Shudo Junior and Senior High School

5 広島市立祇園東中学校；Hiroshima municipal Gion-higashi Junior High School

6 比治山女子中学・高等学校；Hijiyama Girls' Junior and Senior High School

7 呉市海事歴史科学館；Kure municipal Yamato Museum

8 兵庫県立柏原高等学校；Hyogo Prefectural Kaibara Senior High School

9 広島大学大学院教育学研究科 * 責任著者；Graduate School of Education, Hiroshima University

I. はじめに

本稿の目的は、広島県東広島市旧西条町に分布する石碑の特徴を明らかにすると共に、地域学習、とりわけ小学校社会科や中学校社会科地理的分野における石碑の活用と教材的意義を検討することである。

古戦場や古城跡に建立された記念碑に着目し、それを生み出して来た社会的背景や歴史意識を検討した羽賀（1998）によれば、記念碑は何らかの契機によって結びついてきた集団（共同体）が共有しなければならない歴史的感情的シンボルであり、同時にある場所に建立されることによって歴史的な景観の一部を構成するようになるとともに、その周辺を保護しようとする心的な規制を作り出していくものである。また、記念碑などの顕彰行為に関する研究を整理した上杉（2009）は、記念碑は紙媒体に記した歴史とは異なり、その場を動くことがなく地域に固定されるという性格ゆえに、地域のアイデンティティ・拠り所として強く意味づけられ、長い歴史の中で地域アイデンティティ涵養の素材としてふさわしいもののみが選択され顕彰行為の対象となっていくと指摘している。加えて、三陸海岸沿岸の地震・津波に関する石碑を対象とした研究（羽鳥，1977；卯花，1991など）では、石碑の碑文が過去の津波の被害を記しているだけでなく、石碑の位置が当時の津波が到達した位置であるなど、石碑の位置そのものが重要な情報であることも明らかにされている。また、小山ほか（2017）では、土石流や洪水に関連する石碑の碑文や、それらの被災地と石碑の位置関係を検討して、石碑がその地域で発生する災害に対する防災教育に役立つ可能性を指摘している。

これらの研究から、石碑の特質を1) 当時の地域の人々にとって重要な事柄が石碑として顕彰される、2) 石碑の建立によってその場所が意味づけられ、地域のアイデンティティのシンボル・拠り所として保護されていく、3) 石碑が位置する場所そのものに意味がある場合があるの3つに整理できる。換言すれば、石碑は歴史的な意味づけがなされた場所において、地域の人々にとって重要であった社会的事象について調査・観察することができる資料であるともいえよう。この特質は、子どもたちに直接的な経験をさせることが求められる、地域で展開される人々の営みや諸課題、諸施設のはたらきやその地域的特色を地域調査から追究する「地域学習」の教材として優れた価値をもたらす可能性をもっているといえよう。

日本における「地域学習」は、とりわけ小学校社会科や中学校社会科地理的分野において重要視されてきた。社会科における「地域学習」については、竹内（2012）

が時系列に沿ってまとめている。それによれば、1947（昭和22）年に新設された社会科は、子どもたちが直面している現実世界での問題を対象にした問題解決学習を構成原理とした。そしてその問題は、子どもたちが実際に生活している直接経験地域にあった。つまり、いわゆる「地域学習」を基盤とする問題解決学習が初期社会科の中核に位置したのである。1969年版の中学校社会科学習指導要領では、それまでの「郷土」単元を「身近な地域」単元に名称変更し、地理的な見方・考え方、地理的技能を習得する場として扱うようになる。以降、地理的な見方・考え方、地理的技能を習得する「地域学習」が展開されていくようになる。

現行の小学校学習指導要領解説社会編では、特に第3,4学年において、身近な地域の土地利用や公共施設、交通、古くから残る建造物、地域の生活の変化や地域の人々の生活向上に尽くした先人の働きや苦心を地域調査によって追究していく内容構成となっている（文部科学省，2008）。また中学校学習指導要領解説社会編においても、地理的分野の「身近な地域の調査」単元と歴史的分野の「身近な地域を調べる活動」単元で、身近な地域の課題や特色、歴史的な背景を調査する活動が設定されている（文部科学省，2014）。加えて、2017年3月に公示された次期学習指導要領¹⁾においても、「地域学習」によって地理的な見方・考え方、地理的技能を習得する方針が示されている（文部科学省，2017a）。とりわけ中学校の次期学習指導要領解説社会編では、従前の世界の様々な地域又は国を対象とする「世界の様々な地域の調査」、生徒の生活舞台を対象とする「身近な地域の調査」という、対象地域によって異なる二つの中項目からなる内容構成を見直し、生徒の生活舞台を主要な対象地域とした、観察や野外調査、文献調査などの実施方法を学ぶ「地域調査の手法」と地域の将来像を構想する「地域の在り方」の二つの中項目に再構成したことを改訂の要点として挙げており（文部科学省，2017b）、「地域学習」の重要性が高まっているといえる。このように、社会科の設立から現在に至るまで、地域調査を通じた「地域学習」は学習指導要領上、重要な位置づけにある。

しかしながら、現在の社会科における「地域学習」の実態については、多くの課題点が指摘されている。地理教育を中心に地域調査の現状と課題を考察した池（2012）は、中学校では「身近な地域の調査」単元での現地調査の実施率が極めて低く、宮城県で実施された調査では7割を超える教員が読図指導のみで単元を終えているとしている。小学校では、地域調査の実施率自体は高いものの、身近な地域の学習、特に地域

調査の指導を苦手とする教員が多く、各市町村の作成する「副読本」に依存した授業が少なくないと分析し、地域調査の形骸化を指摘している。

地域調査の形骸化の要因として、授業時数確保の困難さや安全面での問題、高校入試における重要度が低いこと、教員の指導能力不足と並んで、地域に即した資料の不足が挙げられている（竹内、2012）。上述したように、石碑は「地域学習」にとって高い教材的価値をもち、「地域学習」の形骸化の打開に貢献すると考えられるが、その具体的な活用法や意義を検討した研究は限られている。間森（2011）や高橋（2015）は授業の導入段階において石碑を用いる授業実践を報告しているが、学校内の石碑や戦死者を慰霊する忠魂碑のみを取り上げたものであり、石碑から地域の歴史や人々の営みを検討したものではない。水害に関する石碑を検討した小山ほか（2017）は、防災教育に関しては非常に示唆に富むものであるが、社会科での活用は検討の対象とされていない。

そこで本稿では、このような「地域学習」の現状打開の一助となるように、石碑の教材的意義を具体的な事例の検討を通して明らかにしていきたい。事例としては、広島県東広島市旧西条町を取り上げる。旧西条町は、広島県東広島市の中央部に位置し、1974年に志和町、高屋町、八本松町と合併して東広島市となり、その後、2005年に東広島市は黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町、安芸津町と合併した。旧西条町の地域的特色として、1) 東広島市の中心部であり、市役所などの公的機関が集中し市街地化が進んでいること、2) 安芸国分寺跡や旧山陽道、宿場町など歴史的な史跡が残ること、3) 南部を中心に数多くの溜池が点在する水田耕作の農村の景観が残ることが挙げられる。旧西条町が地域の中心的機能と農村的な景観のどちらも有するということは、石碑建立にかかわる地域性や歴史性の多面性や一般性を検討することが可能であると考えられる。なお、広島大学は旧西条町内に位置し、その敷地内には多数の石碑が存在しているが、広島市内からの統合移転に伴って移設されたものであるため、広島大学の人物や組織に関する石碑が大半である。よって、研究目的の趣旨とは外れるため、本稿では広島大学敷地内を研究対象地域から除外した。

対象地域における石碑に関する研究は東広島郷土史研究石造物研究会（2015）や東広島市教育委員会（1983）があるが、従来の研究では石碑の全体分布が明らかになっておらず、石碑の実態を把握することは難しい。

以上より、本稿では、悉皆的な現地調査に基づき、

旧西条町内の石碑の分布と特徴を明らかにし、小学校及び中学校の社会科の授業における石碑の具体的な活用法と意義について考察する。

II. 研究方法

石碑の調査は、2016年9月から2017年8月の期間に対象地域内を悉皆的に踏査した。現地では、石碑の撮影や碑文の読み取り、具体的な設置場所の記録、石碑の移転や建立の経緯等に関する聞き取り調査を行った。

碑文の情報から、石碑の属性を「人物」、「宗教」、「戦争」、「農業」、「公共」、「その他」に分類した。「人物」は、特定の個人を顕彰する石碑を指す。「宗教」は、由緒書や社殿の改築、施設建立への寄附など、信仰や寺社に関する記載が読み取れる石碑である。「戦争」は、日露戦争や第二次世界大戦などの戦死者の慰霊や平和祈念を目的とした石碑を示す。「農業」は、用水路の建設や溜池の建設・補修、耕地整備等の農業との関連性が高いものである。「公共」は、学校や村役場などの公共施設の建設や道路の拡幅工事などの公共性の高い事業を示したもので、並びに公共施設が過去に存在したこと、公共施設に寄附したことを示す石碑である。「その他」は、上記5つの分類に当てはまらないものである。特定の個人が役場の敷地を寄附したという内容が石碑に記されるなど、複数の属性を有する石碑は「人物（公共）」、「人物（農業）」のように示す。

なお、広島県には多数の水害碑が存在することが指摘されているが（小山ほか、2017）、本研究対象地域内では発見されなかった。このように、本研究対象地域には立地が確認されないが他地域には立地すると考えられる属性の石碑も存在するが、本稿では検討の対象外とし、本研究対象地域内で確認できた石碑の属性のみを取り扱う。

また本稿では、石碑が立地する場所の属性の分類も行った。石碑の立地場所から、寺社、溜池、公共施設²⁾、道路脇、その他に大別した。

石碑のもつ教材的意義については、調査結果の検討から、1) 社会科における教育内容への適合、2) 碑文の情報量という2つの観点でAからCの3つに分類した。1) 社会科における教育内容への適合は、学習指導要領解説社会編において編成される学習内容、およびその具体的例示に適合するかを検討した。次期学習指導要領の先行実施が2018年から、全面実施が2020年から行われる³⁾ことを踏まえ、基準とする学習指導要領は2017年3月に公示された次期学習指導要領解説社会編を用いた。学習指導要領解説社会編に

において編成される学習内容、地域の地形や土地利用、交通、公共施設、寺社などの古くから残る建造物、生活環境、これら地域の様子の変化、地域の発展に尽くした先人の努力と苦心、地域的な特色や課題を捉えられる石碑を1)に該当するものとした。とりわけ、地域の発展に尽くした先人の努力と苦心の単元に該当する、頌徳碑など地域の発展に寄与した人物を顕彰する石碑は数多く存在すると考えられるが、学習指導要領解説社会編に例示される下記の具体例と一致するものを1)に適する石碑とした。学習指導要領解説社会編に記載される地域の発展に尽くした先人の努力と苦心の単元に該当する具体例としては、用水路の開削や堤防の改修、砂防ダムの建設、農地の開拓、藩校・私塾の開設、新聞社を起こした人物などであり、これらに該当する内容の石碑を1)を満たす石碑として評価した。2)碑文の情報量については、石碑に記載される内容のみで社会的事象を理解できるかどうかを基準として検討した。この2つの基準から、1)と2)の双方を満たすと考えられるものをA、1)は満たすが2)を満たさないと考えられるものをB、それ以外のものをCと評価した。

Ⅲ. 石碑の分布とその特徴

現地調査では、2017年8月25日の時点において、合計202基の石碑が確認された。本章では、対象地域における石碑の分布とその特徴を、石碑の属性や立地する場所、建立年との関連から明らかにしていく。表1に石碑の一覧、表2に立地場所と属性別の石碑数を示した。図1に石碑の分布を示した。

1. 石碑の属性と分布

表2から石碑の属性をみると、最も多い属性の石碑数は「宗教」の78であり、「人物」の属性をもつ石碑（「人物（公共）」と「人物（農業）」を含む）が43、「公共」が28、「農業」が19、「戦争」が14となっている。立地する場所では寺社の102が最も多く、公共施設の44、道路脇の31、溜池の18、その他の7と続く。

立地する場所と石碑の属性の関連性を検討する。最も多くの石碑が立地する寺社では、70基を超える石碑が「宗教」の属性をもち、その内容の大半が寺社の増改築に伴う寄附者や寄附金額の一覧が記載されるものであった。公共施設に立地する石碑の属性をみると、公共事業や地域の発展に尽くした人物を顕彰する石碑が多くみられる。「農業」の属性を含む石碑は25基確認されるが、そのうち15基が溜池に立地し、記載内容も溜池の新設や補修、出資者を顕彰するものであった。

図1より石碑の分布をみると、特に広島大学以北の盆地部に多くの石碑が分布している。また、同一の場所に複数の石碑が集中して立地しているものが多くみられる。表1をみれば、とりわけ寺社においてその特徴がみられる。公共施設に注目すると、上三永公会堂（石碑117, 118, 120, 121, 123, 124, 127, 130）に8基、下見福社会館（石碑76～81）に6基、東広島市立寺西小学校（石碑35, 37～41）に6基の石碑が立地し、この3地点に公共施設に立地する石碑の半数近くが集中している。

また、同一の地点に1つの事象に関する2つの石碑が建立されている事例（石碑25及び26, 117及び118, 161及び162, 178及び179, 195及び196）があり、いずれも建立年は異なる（表2）。このような事例の特徴として、2点挙げられる。1つは、最初に建立された石碑の情報量の少なさである。石碑178や195は特定の個人を顕彰した石碑であるが、碑文がなくその内容が不明である。また石碑26も文章量が少なく、内容が不明確である。後世に内容を継承するために、補足の説明を加える石碑が建立されたと考えられる。もう1つは、石碑の移設である。石碑162の碑文には、土地区画整理事業に伴って山田池とその池を構築した渡辺氏の偉業を称えた石碑161を移設することになったため、その業績を後世に伝えるために石碑162を建立するとの旨が記載されている。石碑移設を契機に、その石碑と場所の意味を後世に伝えるという顕彰の機運が高まったといえよう。また石碑117及び118の事例においても、石碑の移設に伴って石碑の追設が行われている。

2. 石碑の属性と建立年との関連

ここでは、石碑の建立年代と石碑の属性の面から検討を加える（図2）。石碑の建立が盛んな時期として、1) 1900～1914年、2) 1925～1934年、3) 1980～2004年の3つが抽出できる。この期間の石碑の属性をみると、どの期間においても「宗教」の属性をもつ石碑が多く建立されている。とりわけ、1995年以降は建立される石碑の半数以上が「宗教」に関連するものであり、石碑による顕彰行為が「宗教」に関連したものに限定されてきていることが読み取れよう。加えて、3)の期間の内、1980～1984年は石碑建立数が最も多く、その内訳をみると「農業」の属性をもつ石碑が5基であり、「宗教」に次いで多い。表1よりその碑文の概要をみれば、土地改良に関するものが3基（石碑91, 166, 198）であった。土地改良に関する石碑が複数存在する期間は1980年以前には確認できず、1980年代に土地改良事業が盛んに行われたこと

表1 旧西条町における石碑の一覧

番号	碑名	建立年 (西暦)	碑文の概要	碑文の 文字	属性	場所	所在	緯度	経度	教材的 意義
1	山林作業路建設記念碑	1989	碑名のみ	-	公共	道路脇	西条町寺家	34° 27' 7.48"	132° 43' 42.03"	C
2	閉校記念碑	-	東広島医療センター附属看護学校の校歌、開閉校年月	かな	その他	公共施設	東広島医療センター	34° 26' 50.27"	132° 43' 29.87"	C
3	望月孝二名譽院長句碑	2000	望月孝二院長の句	かな	その他	公共施設	東広島医療センター	34° 26' 50.16"	132° 43' 29.97"	C
4	花が迫の森	1983	東光会設立25周年を記念	かな	その他	公共施設	憩いの森公園	34° 26' 49.09"	132° 44' 18.86"	C
5	環境美化事業	2009	植樹目録	-	公共	溜池	大沢田池	34° 26' 44.48"	132° 43' 19.08"	C
6	西農茶園跡	2001	西農茶園の沿革	-	その他	公共施設	西条町寺家	34° 26' 40.91"	132° 43' 19.83"	C
7	金鑄原池内堀堤防工事落成記念	1876	工費概要、世話人一覧	-	農業	溜池	金鑄原池	34° 26' 28.87"	132° 44' 41.2"	B
8	寄付人名	1886	寄附者名及び寄付金額一覧、事業概要	漢文	農業	溜池	金鑄原池	34° 26' 28.83"	132° 44' 41.55"	B
9	頌徳 河内義人先生之碑	1934	河内義人氏の顕彰	-	人物 (公共)	道路脇	西条町寺家	34° 26' 28.79"	132° 43' 25.42"	B
10	神社再建	1999	神社再建の概要	-	宗教	寺社	木綿神社	34° 26' 26.99"	132° 43' 20.93"	B
11	塞の神神殿落成記念碑	1989	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	西条町寺家	34° 26' 15.79"	132° 43' 46.65"	C
12	記念碑	1911	郡八幡神社の由緒書	漢文	宗教	寺社	郡八幡神社	34° 26' 15.22"	132° 43' 38.76"	B
13	西ヶ谷刈又池改修工事記念碑	1983	西ヶ谷刈又池の概要、関係者氏名、工事概要	かな	農業	溜池	西ヶ谷刈又池	34° 26' 15.06"	132° 42' 24.95"	B
14	吉行道路記念	1926	寄附者名及び寄付金額、土地寄付面積一覧	-	公共	道路脇	西条町土与丸	34° 26' 11.33"	132° 45' 14.99"	C
15	当山敷地寄附記念	1912	寄附者名及び寄付金額、土地寄付面積一覧	-	宗教	寺社	福応山西楽寺	34° 26' 8.88"	132° 45' 3.99"	C
16	冠木門大手記念	1929	発起人一覧	-	宗教	寺社	福応山西楽寺	34° 26' 8.62"	132° 45' 3.82"	C
17	報恩碑	1962	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	福応山西楽寺	34° 26' 8.55"	132° 45' 3.83"	C
18	庫裡改築記念報恩碑	1980	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	福応山西楽寺	34° 26' 8.42"	132° 45' 3.86"	C
19	記念報恩碑	1987	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	石清水八幡神社	34° 26' 6.27"	132° 44' 52.79"	C
20	客殿再建懇志芳名碑	2016	寄附者名及び寄付金額一覧、関係者一覧	-	宗教	寺社	真言宗國分寺	34° 26' 3.19"	132° 44' 56.49"	C
21	板碑	1339	南北朝時代の整形板碑(解説版より)	-	宗教	寺社	平泰寺	34° 26' 3.03"	132° 43' 0.38"	B
22	平成大業本堂再建懇志者芳名碑	2004	寄附者名及び寄付金額一覧、関係者一覧	-	宗教	寺社	真言宗國分寺	34° 26' 2.8"	132° 44' 55.31"	C
23	聖武帝遺蹟碑	1933	安芸国分寺史跡登録の経緯	-	その他	寺社	史跡国分寺塔跡	34° 26' 1.95"	132° 44' 53.18"	B
24	市地栄七碑	1909	故陸軍歩兵上等兵市地栄七君の戦功と来歴	漢文	戦争	道路脇	西条町寺家	34° 25' 58.13"	132° 43' 47.21"	C
25	木村静彦翁銅像再建の由来	1988	木村静彦翁銅像再建の由来	かな	人物	公共施設	御建公園	34° 25' 57.62"	132° 44' 39.37"	B
26	木村翁銅像古跡之碑	1943	木村静彦氏の顕彰	カナ	人物	公共施設	御建公園	34° 25' 57.6"	132° 44' 39.45"	B
27	檜高憲三先生教育碑	1966	檜高憲三氏の顕彰、西條小学校校訓	かな	人物 (公共)	公共施設	御建公園	34° 25' 57.08"	132° 44' 39.68"	B
28	故陸軍歩兵上等兵立石兼一君碑	1905	日露戦争戦死者の慰霊と石碑建立の経緯	漢文	戦争	道路脇	西条町寺家	34° 25' 56.64"	132° 43' 34.02"	C
29	-	1967	諏訪神社の財産概要、改築事業概要	漢文	宗教	寺社	諏訪神社	34° 25' 55.12"	132° 44' 13.04"	B
30	本堂落成記念碑	1963	教善寺の歴史、氏子一覧	漢文	宗教	寺社	経善寺	34° 25' 54.92"	132° 44' 38.5"	B
31	昭和大改修記念碑	1981	寄附者名及び寄付金額一覧、関係者一覧	-	宗教	寺社	経善寺	34° 25' 54.53"	132° 44' 38.52"	C
32	平成大修復記念碑	2003	寄附者名及び寄付金額一覧、関係者一覧	-	宗教	寺社	経善寺	34° 25' 54.51"	132° 44' 38.63"	C
33	脇米翁之碑	-	脇米氏の顕彰	漢文	人物	寺社	大林寺	34° 25' 48.73"	132° 45' 4.49"	B
34	川西地区圃場整備記念碑	1974	圃場整備事業の概要、関係者一覧	かな	農業	公共施設	寺西地域センター	34° 25' 46.89"	132° 43' 11.29"	B
35	慰霊碑	1959	戦没者名一覧、設立委員氏名	-	戦争	公共施設	寺西小学校	34° 25' 46.76"	132° 43' 29.75"	C
36	建築記念碑	1912	役場建設の経緯、寄附者名及び寄付金額一覧	漢文	公共	道路脇	西条町寺家	34° 25' 46.2"	132° 43' 48.32"	B
37	羅漢古碑	1489	漢詩とその説明	かな	その他	公共施設	寺西小学校	34° 25' 45.61"	132° 43' 33.9"	B
38	尾越逸平君頌徳碑	1912	尾越逸平氏の顕彰	漢文	人物	公共施設	寺西小学校	34° 25' 45.42"	132° 43' 34.32"	B
39	磯部頼夫先生書藏碑	1913	磯部頼夫氏の顕彰、磯部家歴史と門弟のその後	漢文	人物 (公共)	公共施設	寺西小学校	34° 25' 45.42"	132° 43' 34.17"	B
40	児玉良亮翁	1936	児玉良亮氏の顕彰	漢文	人物	公共施設	寺西小学校	34° 25' 45.41"	132° 43' 34.45"	B
41	米田利平翁之碑	1955	米田利平の来歴と顕彰	カナ	人物	公共施設	寺西小学校	34° 25' 45.33"	132° 43' 33.82"	B
42	ガフリンポンプ 富村寄贈者岡田一逸	1931	碑名のみ	-	人物 (公共)	公共施設	土与丸1丁目グラウンド	34° 25' 44.96"	132° 45' 5.54"	C
43	武田精華先生之碑	1955	武田精華氏の顕彰	カナ	人物	公共施設	土与丸1丁目グラウンド	34° 25' 44.94"	132° 45' 5.71"	C
44	皇太子殿下降誕	-	碑名のみ	-	その他	公共施設	土与丸1丁目グラウンド	34° 25' 44.85"	132° 45' 5.53"	C
45	柏尾輝喜先生之碑	1957	柏尾輝喜氏の顕彰	カナ	人物 (公共)	道路脇	西条町寺家	34° 25' 35.6"	132° 43' 8.32"	C
46	匠伯兼則和一郎君之碑	1921	安芸の名匠・兼則和市郎の顕彰	漢文	人物	道路脇	西条町寺家	34° 25' 32.03"	132° 42' 59.62"	C
47	旧山陽道歌謡坂一里塚跡	1980	旧山陽道一里塚跡	-	その他	道路脇	旧山陽道沿い	34° 25' 31.95"	132° 45' 40.67"	B
48	故海軍一等水兵勲八等功七級尾越式柳君之碑	1907	日露戦争で戦死した尾越柳氏の経歴	-	戦争	寺社	長福寺	34° 25' 30.17"	132° 42' 24.8"	C
49	石鳥居寄附者氏名	-	寄附者名一覧	-	宗教	寺社	厳島神社	34° 25' 23.18"	132° 43' 34.88"	C
50	記念碑 今宮神社縁起	1973	今宮神社の縁起	かな	宗教	寺社	今宮神社	34° 25' 22.56"	132° 46' 6.2"	B
51	御大典記念	1928	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	西宮神社	34° 25' 21.73"	132° 45' 4.9"	C
52	頌功碑	1927	耕地整備の理由と概要	漢文	農業	道路脇	西条御条町	34° 25' 20.77"	132° 44' 37.98"	A
53	紀功碑	1900	県道改修尽力者の顕彰	漢文	公共	道路脇	西条御条町	34° 25' 20.68"	132° 44' 37.92"	C
54	青雲山正福寺庫裡改築事業芳名碑	1994	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	正福寺	34° 25' 12.59"	132° 43' 23.21"	C
55	青雲保育園創立五十周年記念碑	2001	創立記念	-	公共	公共施設	青雲保育園	34° 25' 12.23"	132° 43' 23.48"	C

表1 つづき

番号	碑名	建立年 (西暦)	碑文の概要	碑文の 文字	属性	場所	所在	緯度	経度	教材的 意義
56	青山正福寺昭和修復事業懇志芳名	1984	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	正福寺	34°25'12.16"	132°43'23.15"	C
57	本堂瓦葺記念碑	-	工事概要、関係者氏名	-	宗教	寺社	正福寺	34°25'12.03"	132°43'23.05"	C
58	青山大音師句碑	1986	歌	-	その他	寺社	正福寺	34°25'11.99"	132°43'23.02"	C
59	兵士壮行式場跡の碑	1994	壮行式場跡の説明と平和記念	かな	戦争	道路脇	蓮華寺橋	34°25'9.17"	132°43'41.95"	B
60	□番地三反施主	-	寄附者名及び土地寄付面積一覧	-	宗教	寺社	教正寺	34°25'7.83"	132°44'50.38"	C
61	敷石二十四	1925	敷石寄附者名	-	宗教	寺社	教正寺	34°25'7.71"	132°44'50.38"	C
62	山門修復工事	1983	碑名のみ	-	宗教	寺社	教正寺	34°25'7.65"	132°44'50.39"	C
63	本堂屋根葺替・山門・追手修復工事寄附者芳名	1983	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	教正寺	34°25'7.54"	132°44'50.65"	C
64	道路新設之碑	1909	寄附者名及び寄付金額一覧	-	公共	寺社	江熊地藏尊堂	34°25'5.7"	132°44'11.21"	C
65	史跡 野坂完山之墓	1954	県指定史跡	-	その他	その他	西条中央8丁目	34°25'4.47"	132°43'46.08"	C
66	拝殿建替記念碑	1914	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	八幡神社	34°24'55.89"	132°43'33.54"	C
67	広島大学統合移転記念事業	1979	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	八幡神社	34°24'54.86"	132°43'33.86"	C
68	-	-	関係者名一覧	-	宗教	寺社	八幡神社	34°24'54.44"	132°43'33.08"	C
69	記念碑 大護寺	1974	大護寺の概要	-	宗教	寺社	大護寺	34°24'54.33"	132°45'53.95"	B
70	御大典記念	1928	寄附者名及び土地寄付面積一覧	-	宗教	寺社	八幡神社	34°24'53.78"	132°43'31.39"	C
71	元重楽八幡神社	1989	重楽八幡社の概要	カナ	宗教	寺社	八幡神社	34°24'53.15"	132°43'28.81"	B
72	坂井信濃守御検査の記録	1962	下見村概要、菅原家の概要、親族発起人一覧	カナ	その他	寺社	八幡神社	34°24'50.75"	132°43'29.4"	B
73	奉納大来妙典日本廻国供養	1829	関係者名一覧	-	宗教	その他	西条町下見	34°24'50.66"	132°43'19.3"	C
74	森永池堤体改良事業竣工記念碑	1992	事業概要	-	農業	溜池	森永池	34°24'47.85"	132°43'29.72"	B
75	寄附者 宮川 浩 殿	1938	農協の敷地寄付	-	人物 (公共)	公共施設	JA 広島中央下見	34°24'44.27"	132°43'0.89"	C
76	校舎建築寄付	1910	寄附者名及び寄付金額一覧	-	公共	公共施設	下見福祉会館	34°24'43.71"	132°43'1.36"	C
77	番蔵川改修記念碑	2009	河川の経緯	かな	公共	公共施設	下見福祉会館	34°24'43.63"	132°43'1.7"	A
78	忠魂碑	1937	戦没者名一覧	-	戦争	公共施設	下見福祉会館	34°24'43.59"	132°43'1.77"	C
79	山中公園設立記念碑	1966	山中公園設立発起人一覧	-	公共	公共施設	下見福祉会館	34°24'43.58"	132°43'1.58"	C
80	西川岩次郎翁頌徳碑	1928	下見尋常高等小学校の土地の寄付への貢献	-	人物 (公共)	公共施設	下見福祉会館	34°24'43.53"	132°43'1.68"	B
81	下見村役場跡 下見小学校跡記念碑	1980	小学校と村役場の変遷	-	公共	公共施設	下見福祉会館	34°24'43.44"	132°43'1.82"	B
82	□道ろ助実境迄道路拡張寄附米額人別	1908	寄附者名及び寄付物(米)一覧	-	公共	道路脇	西条町御園宇	34°24'41.61"	132°45'6.5"	C
83	会館創立記念樹	1982	植樹記念	-	公共	公共施設	西側会館	34°24'35.8"	132°42'15.51"	C
84	平和之碑	1989	平和祈願	かな	戦争	道路脇	西条町御園宇	34°24'33.52"	132°44'52.67"	B
85	平和の礎となられた人々	1989	戦没者名一覧	-	戦争	道路脇	西条町御園宇	34°24'33.46"	132°44'52.57"	C
86	寿碑	1954	重森寿人氏の顕彰	かな	人物 (公共)	その他	西条町下見	34°24'33.15"	132°43'1.71"	C
87	米寿光岡一芽翁句碑	1988	歌	-	その他	寺社	鴻巣地蔵堂稲荷神社	34°24'32.87"	132°43'4.35"	C
88	松野自得翁句碑	1972	歌	-	その他	寺社	鴻巣地蔵堂稲荷神社	34°24'32.83"	132°43'4.33"	C
89	蓮池進氏頌徳之碑	1938	蓮池進氏の顕彰	-	人物 (公共)	道路脇	西条町御園宇	34°24'32.64"	132°44'52.04"	C
90	片岡静男先生頌功碑	1938	御園宇小学校校長の顕彰	-	人物 (公共)	公共施設	西条町御園宇	34°24'29.57"	132°44'51.5"	C
91	土地改良記念	1980	下見区の土地改良についての経緯	かな	農業	溜池	下見大池	34°24'29.41"	132°42'21.28"	B
92	本堂再建寄付芳名	1906	寄附者名及び寄付金額、寄付物(米)一覧	-	宗教	寺社	玉法山明顕寺	34°24'28.93"	132°42'41.04"	C
93	本堂再建寄付芳名	1906	寄附者名及び寄付金額、寄付物(米)一覧	-	宗教	寺社	玉法山明顕寺	34°24'28.88"	132°42'41.09"	C
94	本堂大修理報恩碑	1982	寄附者名一覧、事業概要	かな	宗教	寺社	玉法山明顕寺	34°24'28.84"	132°42'41.13"	B
95	庫裡改築報恩碑	1997	寄附者名及び寄付金額一覧、事業概要	かな	宗教	寺社	玉法山明顕寺	34°24'28.53"	132°42'41.64"	B
96	本堂大修理報恩碑	2011	事業概要	かな	宗教	寺社	玉法山明顕寺	34°24'28.36"	132°42'41.63"	B
97	玉法山明顕寺縁起	2012	玉法山明顕寺由緒書、歴代住職名	かな	宗教	寺社	玉法山明顕寺	34°24'28.14"	132°42'41.44"	B
98	山門建立記念碑	1988	寄附者名及び寄付金額一覧、事業概要	-	宗教	寺社	玉法山明顕寺	34°24'27.82"	132°42'41.06"	B
99	国指定史跡鏡山城跡	1997	国指定史跡	-	その他	公共施設	鏡山公園	34°24'23.73"	132°43'41.82"	C
100	速池改修記念碑	1999	事業概要、水子一覧	-	農業	溜池	速池	34°24'22.63"	132°45'26.84"	B
101	南無妙法蓮華經三十番神日蓮大士	1790	碑名のみ	-	人物	寺社	西条町御園宇	34°24'17.55"	132°45'8.65"	C
102	渡辺久太郎君之碑	1907	溜池建設の経緯と渡辺氏の顕彰	漢文	人物 (農業)	溜池	西条町御園宇	34°24'16.12"	132°45'9.95"	A
103	奉獻上早稲正治	1991	神社移転の経緯	かな	宗教	寺社	上早稲神社祠	34°24'11.04"	132°45'15.8"	B
104	室神社建設奉加帳	2000	寄附者名及び寄付金額、関係役員一覧	-	宗教	寺社	室神社	34°24'6.77"	132°45'2.92"	C
105	菅田正成典費醸資人別	1882	寄附者名及び寄付物(米)一覧	-	公共	道路脇	西条町御園宇	34°24'6.7"	132°44'29.48"	C
106	本堂改築記念	1923	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	布金山徳行寺	34°24'6.19"	132°44'58.12"	C
107	石垣壁造築記念之碑	1932	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	布金山徳行寺	34°24'6.07"	132°44'58.22"	C
108	報恩碑	1964	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	布金山徳行寺	34°24'5.87"	132°44'56.56"	C
109	本社境外土地特買二付買受地代金ノ内寄附人名	1903	寄付金額及び寄附人名一覧	-	宗教	寺社	石立明神社	34°24'5.85"	132°48'24.18"	C
110	武則翁碑	1941	武則翁の顕彰	漢文	人物	寺社	布金山徳行寺	34°24'5.74"	132°44'58.16"	B
111	石立大明峠道□□□□田地寄進	1867	寄付面積及び寄附者名か	-	公共	寺社	石立明神社	34°24'5.73"	132°48'23.9"	C
112	本堂・庫裏改修懇志芳名碑	2004	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	布金山徳行寺	34°24'5.73"	132°44'56.36"	C
113	再建記念碑	1931	寄附者名及び世話人一覧	-	宗教	道路脇	早稲木交差点	34°24'5.15"	132°45'17.64"	C

表1 つづき

番号	碑名	建立年 (西暦)	碑文の概要	碑文の 文字	属性	場所	所在	緯度	経度	教材的 意義
114	西條町三十町	-	道標	-	公共	道路脇	早稲木交差点	34° 24' 5.02"	132° 45' 17.49"	B
115	本社境外特売払代金内寄附人名	1904	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	岩崎神社	34° 24' 1.88"	132° 47' 35.74"	C
116	立川翁名千代吉	1901	(判読不能)	漢文	人物	寺社	岩崎神社	34° 24' 1.86"	132° 47' 35.4"	C
117	高田義尹校長について	2007	高田義尹校長の生涯と功績、石碑移転の経緯	かな	人物 (公共)	公共施設	上三永公会堂	34° 24' 1.32"	132° 47' 40.03"	B
118	高田義尹先生碑	1950	高田義尹校長の顕彰	かな	人物 (公共)	公共施設	上三永公会堂	34° 24' 1.28"	132° 47' 40.02"	B
119	超専寺本堂納骨堂新築寄附者芳名	1971	寄附者名及び寄付金額、世話人一覧	-	宗教	寺社	超専寺	34° 24' 1.25"	132° 47' 43.41"	C
120	一金貳百圓 運動場埋立雑費寄附者 松川軍一	1942	寄付者名及び寄付金額	-	公共	公共施設	上三永公会堂	34° 24' 1.19"	132° 47' 40.15"	C
121	便所改築費寄附 一金貳百圓 木村松助	-	寄付者名及び寄付金額	-	公共	公共施設	上三永公会堂	34° 24' 1.16"	132° 47' 40.15"	C
122	伝灯奉告法要記念 親鸞聖人尊像建立	1979	世話人一覧	-	宗教	寺社	超専寺	34° 24' 1.13"	132° 47' 43.26"	C
123	便所改築寄附 一金貳百圓 田中浅太郎	-	寄付者名及び寄付金額	-	公共	公共施設	上三永公会堂	34° 24' 1.13"	132° 47' 40.14"	C
124	学校建築寄附 一金貳百圓 岡野亀十	1928	寄付者名及び寄付金額	-	公共	公共施設	上三永公会堂	34° 24' 1.1"	132° 47' 40.13"	C
125	超専寺庫裡副棟新築寄附者名	1963	寄付者名及び寄付金額、世話人一覧	-	宗教	寺社	超専寺	34° 24' 1.08"	132° 47' 42.72"	C
126	奉獻	1901	土地寄附者名及び寄付面積一覧	-	宗教	寺社	大宮神社	34° 24' 1.05"	132° 46' 14.41"	C
127	学校建築寄附 一金壹仟圓 前河内群一	1928	寄付者名及び寄付金額	-	公共	公共施設	上三永公会堂	34° 24' 1.03"	132° 47' 40.1"	C
128	瓦斯燈寄附人	-	寄附者名及び寄付金額一覧	-	公共	寺社	超専寺	34° 24' 1.01"	132° 47' 43.43"	C
129	本堂移轉敷地寄附	1880	敷地寄附者名	-	宗教	寺社	超専寺	34° 24' 0.96"	132° 47' 43.41"	C
130	一田七畝歩運動場用地寄附者 古川謙助	1942	寄付者名及び土地寄付面積	-	公共	公共施設	上三永公会堂	34° 24' 0.94"	132° 47' 40.07"	C
131	奉祝記念事業 参道敷石	2009	奉祝記念事業	-	宗教	寺社	大宮神社	34° 24' 0.86"	132° 46' 14.39"	C
132	発起者	1911	本堂改築発起人一覧	-	宗教	寺社	超専寺	34° 24' 0.79"	132° 47' 43.19"	C
133	鯉迫利八翁之碑	1958	溜池、用水路工事の功績、寄付者名及び寄付金額一覧	漢文	人物 (農業)	道路脇	国道2号線沿い	34° 24' 0.78"	132° 46' 32.46"	B
134	大宮神社由緒碑	2009	大宮神社の由緒	かな	宗教	寺社	大宮神社	34° 24' 0.77"	132° 46' 14.5"	B
135	親鸞聖人七百回大遠忌第十七世超専寺継職記念	1987	大遠忌及び住職継職の記念、関係者名一覧	-	宗教	寺社	超専寺	34° 24' 0.72"	132° 47' 43.12"	C
136	大宮神社御鎮座一千百年奉祝記念事業 記念碑	1998	神社改築改修の経緯と概要	かな	宗教	寺社	大宮神社	34° 24' 0.2"	132° 46' 15"	B
137	御大典奉祝記念玉垣奉納	1990	寄附者名及び寄付金額、世話人一覧	-	宗教	寺社	大宮神社	34° 24' 0.12"	132° 46' 15.14"	C
138	荒谷知郎先生之碑	1957	(判読不能)	かな	人物	寺社	築地神社	34° 23' 59.05"	132° 47' 53.85"	C
139	凱旋記念碑	1902	(判読不能)	(判読不能)	戦争	寺社	築地神社	34° 23' 58.52"	132° 47' 53.62"	C
140	忠魂碑	1933	建設趣意書、戦死者名一覧	カナ	戦争	寺社	築地神社	34° 23' 58.4"	132° 47' 54.17"	C
141	藤原春鶴の碑、市指定史跡	-	藤原春鶴の顕彰	漢文	人物	寺社	築地神社	34° 23' 58.21"	132° 47' 54.23"	B
142	-	1913	共有林購入の経緯、寄付金額及び寄付者一覧	カナ	公共	公共施設	みずとり集会場	34° 23' 57.78"	132° 43' 55.95"	B
143	奉償権寄附 馬場改築	1889	寄附者名及び寄付物(米)一覧	-	宗教	寺社	大宮神社	34° 23' 56.94"	132° 46' 15.08"	C
144	大宮社拝殿建築寄附人名	1889	寄附者名及び寄付物(米)一覧	-	宗教	寺社	大宮神社	34° 23' 56.93"	132° 46' 14.85"	C
145	石段寄附人名	1902	寄附者名一覧	-	宗教	寺社	諏訪神社	34° 23' 56.31"	132° 45' 51.43"	C
146	名鏡調節池	1983	調整池の概要	-	農業	溜池	名鏡調節池	34° 23' 54.79"	132° 43' 49.67"	B
147	尊耕道	-	耕地整備事業概要	-	農業	道路脇	西条町上三永	34° 23' 49.48"	132° 47' 6.88"	B
148	白牡丹精米白場趾	-	白牡丹精米場の説明	かな	その他	その他	吾妻子の滝	34° 23' 49.07"	132° 44' 19.76"	B
149	吾妻子観音堂修復寄附者	1990	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	その他	吾妻子の滝	34° 23' 48.42"	132° 44' 19.9"	C
150	近代水道百選の証	1986	-	-	-	溜池	三永水源地	34° 23' 38.05"	132° 44' 28.52"	C
151	明鏡池築成記念碑	1940	溜池水利工事の経緯と概要、関係者一覧	-	農業	溜池	西条町鏡山3丁目	34° 23' 35.75"	132° 43' 48.88"	B
152	新設記念碑	1928	寄附者名及び寄付金額一覧	-	公共	その他	武士の滝	34° 23' 35.11"	132° 42' 0.1"	C
153	呉市上水道竣工記念碑	-	-	-	-	溜池	三永水源地	34° 23' 32.67"	132° 44' 31.64"	C
154	勝如上人御手植松	1957	七百回忌御巡教記念植樹を示す	-	宗教	寺社	善教寺	34° 23' 27.89"	132° 42' 28.45"	C
155	第十二代住職技露及び庫裡改築懇志者芳名碑	1998	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	善教寺	34° 23' 27.62"	132° 42' 28.47"	C
156	納骨堂建立	1986	納骨堂建立の記念	-	宗教	寺社	善教寺	34° 23' 27.61"	132° 42' 28.71"	C
157	本堂修築懇志記念碑	1981	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	善教寺	34° 23' 27.47"	132° 42' 28.43"	C
158	孝道碑	1913	平脇萬兵衛氏の顕彰	漢文	人物	寺社	善教寺	34° 23' 27.42"	132° 42' 28.27"	B
159	発起人	1901	橋の建設経緯	漢文	公共	道路脇	西条町田口	34° 23' 23.88"	132° 42' 7.84"	C
160	忠魂碑	1906	戦争被害と慰霊	漢文	戦争	道路脇	西条町田口	34° 23' 19.34"	132° 43' 42.2"	C
161	渡辺民助翁頌功碑	1950	山田池を整備した渡辺氏の顕彰	漢文	人物 (農業)	溜池	東広島駅付近山田池	34° 23' 15.48"	132° 45' 28.58"	B
162	-	2000	渡辺民助の説明と石碑移転の経緯	かな	人物 (農業)	溜池	東広島駅付近山田池	34° 23' 15.34"	132° 45' 28.61"	B
163	記念碑	-	東広島駅前土地区画整備事業概要	-	公共	道路脇	西条町下三永	34° 23' 12.74"	132° 45' 42.7"	B
164	(判読不能)	1901	(判読不能)	(判読不能)	-	寺社	塩久保神社	34° 23' 1.45"	132° 45' 14.71"	C
165	橘氏碑	1904	(判読不能)	漢文	人物	寺社	塩久保神社	34° 23' 1.43"	132° 45' 14.59"	C
166	土地改良記念碑	1984	土地改良整備事業概要、受益者名一覧	かな	農業	溜池	千年池付近	34° 23' 1.13"	132° 44' 46.06"	A
167	石段寄附者	1927	寄附者名及び寄付金額一覧	-	宗教	寺社	末釜神社	34° 22' 55.8"	132° 45' 6.61"	C

表1 つづき

番号	碑名	建立年 (西暦)	碑文の概要	碑文の 文字	属性	場所	所在	緯度	経度	教材的 意義
168	沖田嘉市翁之碑	1950	灌漑用水路隧道を開削した功績	かな	人物 (農業)	寺社	西条町郷曾稲荷神社	34°22'50.23"	132°41'54.8"	A
169	松原米吉翁之碑	1970	郵便局を誘致した功績と生涯	かな	人物	公共施設	郷田郵便局脇	34°22'47.66"	132°42'31.78"	C
170	校舎改築記念碑	1932	寄付金額及び寄付者名一覧、工事概要	-	公共	公共施設	郷田小学校	34°22'47.48"	132°42'33.93"	B
171	宮ノ後池改良碑	1996	竣工年、総工費、地元負担金、施工者、発注者	-	農業	寺社	堀越神社	34°22'46.78"	132°43'5.25"	B
172	庫裏講師間改築懇志芳名碑	2003	寄附者名及び寄付金額一覧、事業概要	-	宗教	寺社	龍王山正隆寺	34°22'46.19"	132°45'0.93"	B
173	境内拡張記念碑	1996	土地寄贈者名、場所、面積	-	宗教	寺社	堀越神社	34°22'45.41"	132°43'7.9"	C
174	土地改良記念碑	1999	土地改良の事業概要	-	農業	寺社	堀越神社	34°22'44.81"	132°43'7.94"	B
175	千足池竣工記念碑	1986	千足池開拓工事の経緯、堰の概要	かな	農業	溜池	千足池	34°22'43.92"	132°45'27.7"	B
176	慰霊碑	1954	碑名、建立年、施主のみ	-	戦争	公共施設	郷田地域センター	34°22'41.47"	132°42'36.34"	C
177	源三位頼政郷並西妙尾一族追 墓碑	1980	関係者名一覧	-	その他	寺社	福成寺	34°22'41.2"	132°46'29.54"	C
178	進藤祿郎翁之碑	1962	碑名、建立年、施主のみ	-	人物	公共施設	郷田地域センター	34°22'40.66"	132°42'37.71"	C
179	進藤祿郎翁之碑 解説	-	郷田の首長が治水、農業事業など をした功績	かな	人物	公共施設	郷田地域センター	34°22'40.57"	132°42'37.65"	B
180	中の峠隧道之碑	1977	灌漑隧道建設の経緯、石碑建立関 係者一覧	かな	農業	溜池	西条町郷曾二番池	34°22'40.36"	132°41'41.71"	A
181	庫裏渡廊下仁王門修理参道取 付工事	1997	工事費寄付者一覧	-	宗教	寺社	福成寺	34°22'39.63"	132°46'29.89"	C
182	本堂屋根修理工車一式	2003	建立者氏名	-	宗教	寺社	福成寺	34°22'39.61"	132°46'30.04"	C
183	石階寄進氏子名	1917	寄付者名一覧	-	宗教	寺社	鷹巣八幡神社内	34°22'35.23"	132°41'21.97"	C
184	聖徳太子恩徳會	1906	聖徳太子信仰	漢文	宗教	寺社	東昇院	34°22'33.33"	132°41'49.46"	C
185	(判読困難)	1906	漢文(表)、寄付者人名一覧(裏)	漢文	-	道路脇	西条町郷曾	34°22'29.1"	132°41'48.29"	C
186	造営記念碑	1997	寄付者名、寄付金額、設計者など 造営関係者一覧	-	宗教	寺社	竹上八幡神社	34°22'29.04"	132°42'12.57"	C
187	藤田九一翁之碑	1952	農協を設立した功績	かな	人物 (農業)	道路脇	西条町郷曾道路沿	34°22'26.02"	132°42'23.18"	C
188	雷八幡神社新築記念碑	1975	祭神、由緒、寄付金額及び寄付者 名一覧	かな	宗教	寺社	雷八幡神社	34°22'23.9"	132°44'18"	B
189	頌徳碑	1933	地域の発展に尽くした業績	カナ	人物	寺社	石神八幡神社	34°22'23.22"	132°40'49.97"	B
190	耕地整理之碑	1928	耕地整理の経緯、耕地整理組合組 員一覧	かな	農業	公共施設	森近公会堂	34°22'15.75"	132°44'12.46"	B
191	土肥君追遠碑	1926	村長の功績と追悼	漢文	人物	その他	西条町郷曾説教堂	34°22'14.72"	132°42'41.45"	C
192	頌徳碑	1934	寄付者名及び寄付金額一覧	カナ	人物	道路脇	西条町馬木	34°22'13.94"	132°43'51.41"	C
193	慰霊平和之碑	1995	戦死者の慰霊と平和記念、施主及 び戦争死者名一覧	かな	戦争	寺社	寺岡八幡神社	34°22'8.11"	132°42'44.5"	C
194	忠魂碑	1931	病戦死名及び寄付者名一覧	-	戦争	寺社	瀬戸観音堂	34°22'7.04"	132°43'47.26"	C
195	見山好實先生頌徳碑	-	碑名、設置者、建立年のみ	-	人物 (公共)	道路脇	瀬戸観音堂	34°22'6.33"	132°43'47.42"	C
196	見山好實先生頌徳碑之由来	1993	教育振興・農業経営近代化などの 功績、石碑建立の由来	かな	人物 (公共)	道路脇	瀬戸観音堂	34°22'6.32"	132°43'47.31"	B
197	頌徳碑	1916	小学校校長の功績	漢文	人物 (公共)	公共施設	為則集会所	34°22'1.22"	132°43'41.05"	C
198	土地改良記念碑	1984	土地改良事業の概要	-	農業	道路脇	西条町馬木	34°21'50.12"	132°43'41.9"	B
199	神社造営碑	1915	神社造営の経緯	漢文	宗教	寺社	公家八幡宮	34°21'35.17"	132°43'31.4"	B
200	久善田神社由緒書	1974	由緒書、新規造営の概要	かな	宗教	寺社	公家八幡宮	34°21'34.35"	132°43'31.56"	B
201	湯浅家一代大友政左エ門之霊	1960	郷土の開発に尽力した功績	かな	人物	道路脇	西条町馬木	34°21'31.23"	132°43'19.58"	B
202	長野大池改修工事竣工記念碑	2012	寄附者名及び寄付金額一覧、事業 概要	-	農業	溜池	長野大池	34°21'14.34"	132°45'32.32"	B

資料：現地調査より筆者作成。

注1：属性は、碑名や碑文などの情報から抽出した石碑の属性を6つ(「人物」、「宗教」、「戦争」、「農業」、「公共」、「その他」)に分類したものである。

注2：教材的意義は、①社会科における教育内容への適合、②碑文の情報量という2つの観点で三段階(A、B、C)に分類したものである。

注3：「-」はデータがないことを示す。ただし、属性の「-」はデータの不足等から分類できないことを示す。

注4：碑文の文字の「かな」は漢字ひらがな交じりの碑文を、「カナ」は漢字カタカナ交じりの碑文を、「-」は碑文がないことを示す。

表2 立地場所と属性別の石碑数

	宗教	公共	農業	戦争	人物	人物 (公共)	人物 (農業)	その他	-	総計
寺社	75	3	2	5	9	0	1	6	1	102
公共施設	0	14	2	3	9	9	0	7	0	44
道路脇	1	9	3	6	3	5	2	1	1	31
溜池	0	1	12	0	0	0	3	0	2	18
その他	2	1	0	0	1	1	0	2	0	7
総計	78	28	19	14	22	15	6	16	4	202

資料：現地調査より筆者作成。

注：「-」はデータの不足等から分類できないものを示す。

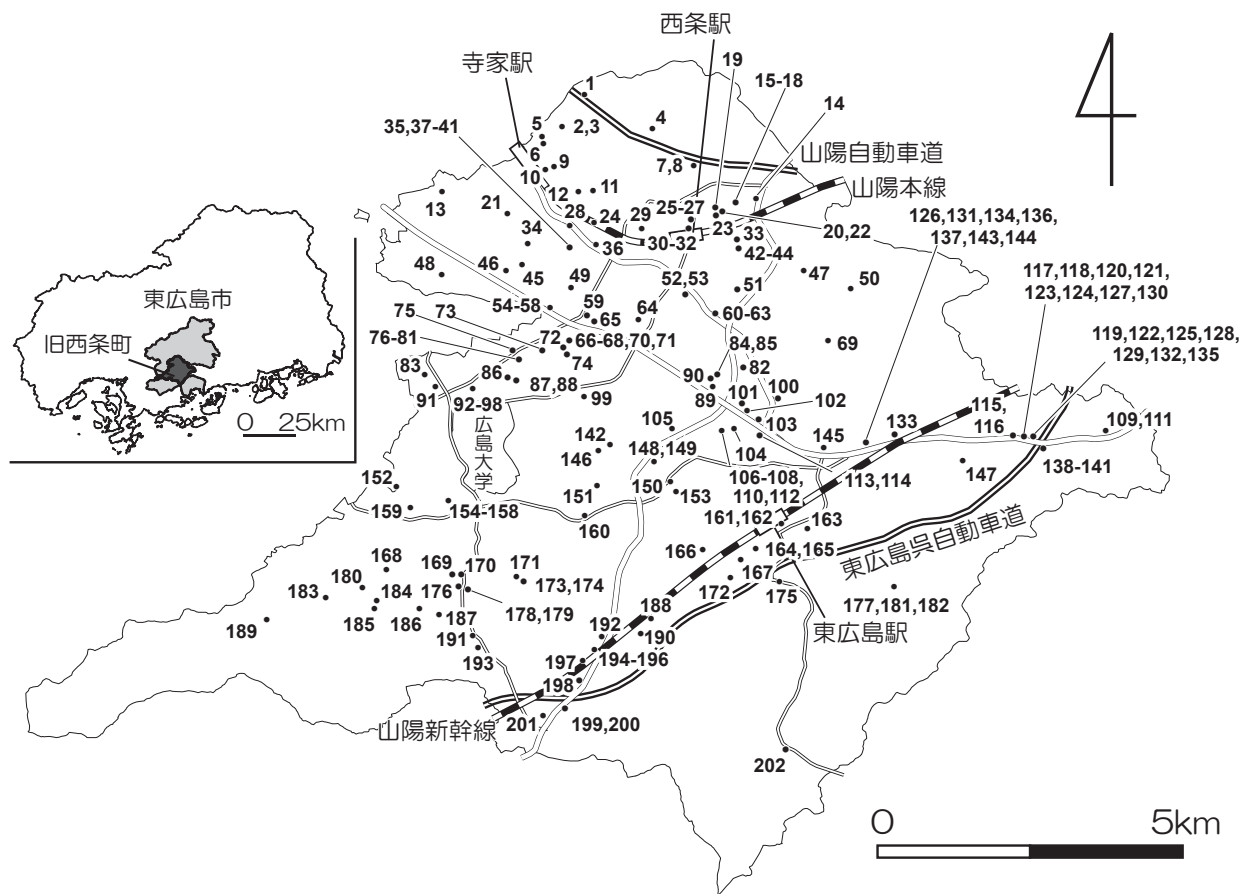


図1 旧西条町における石碑の分布

資料：現地調査より筆者作成。
注：番号は表1に対応。

を示すものであろう。

次に、「人物」の属性をもつ石碑の建立をみると、その建立は1959年以前に顕著である。1960年以降、「人物」の属性をもつ石碑は8基（石碑25, 27, 117, 162, 169, 178, 196, 201）確認される。

「戦争」の属性に注目すると、その石碑の建立は1905年以降にみられ、1904年に勃発した日露戦争を契機として戦死者を慰霊する動きが活発になったと考えられる。「戦争」の属性をもつ石碑の記載内容を検討すると、1959年までは石碑194の「忠魂碑」や石碑176の「慰霊碑」のように戦死者名の一覧を記載するなど、戦死者の慰霊に重点が置かれている。一方で、1985年以降に建立された石碑（石碑59, 84, 193）をみると、平和記念という意味合いを含む石碑であることがわかる。つまり戦争に関する石碑の建立は、日露戦争以後、第二次世界大戦を経て1950年代までは戦死者の慰霊を目的として行われ、その後平和記念も含んだ建立目的に変化してきたといえよう。

最後に「公共」の属性を検討すると、「公共」の属性をもつ43基の石碑のうち、24基が1945年以前のものである。表1から石碑の記載内容をみれば、「公

共」の属性をもつ石碑の大半が寄附者の一覧を示している。しかし1945年以降をみると、寄附について記載する石碑の建立は確認されない。戦前においては地域の有力者や住民による寄附という行為が、地域社会にとって大きな役割を果たしてことを示すものであろう。

以上をまとめると、石碑の属性と建立年との関連から、3つの時期に大別できる。第一期は1945年以前の戦前戦中期である。この期間では、地域社会に貢献した人物や寄附行為を顕彰する石碑が多くみられ、日露戦争を契機とする慰霊に関する石碑が建立され始めるようになる。第二期は、1945～1979年の期間である。「人物」の属性をもつ石碑の建立が減少し始め、「宗教」の属性をもつ石碑の割合が増加していく、いわば移行期に当たる。第三期は1980年代以降である。1980年代の土地改良事業の顕在化と戦争関連碑の慰霊から平和記念という建立目的の変化、石碑による顕彰行為が「宗教」に関連したものに限られてきているという特徴がみられる。

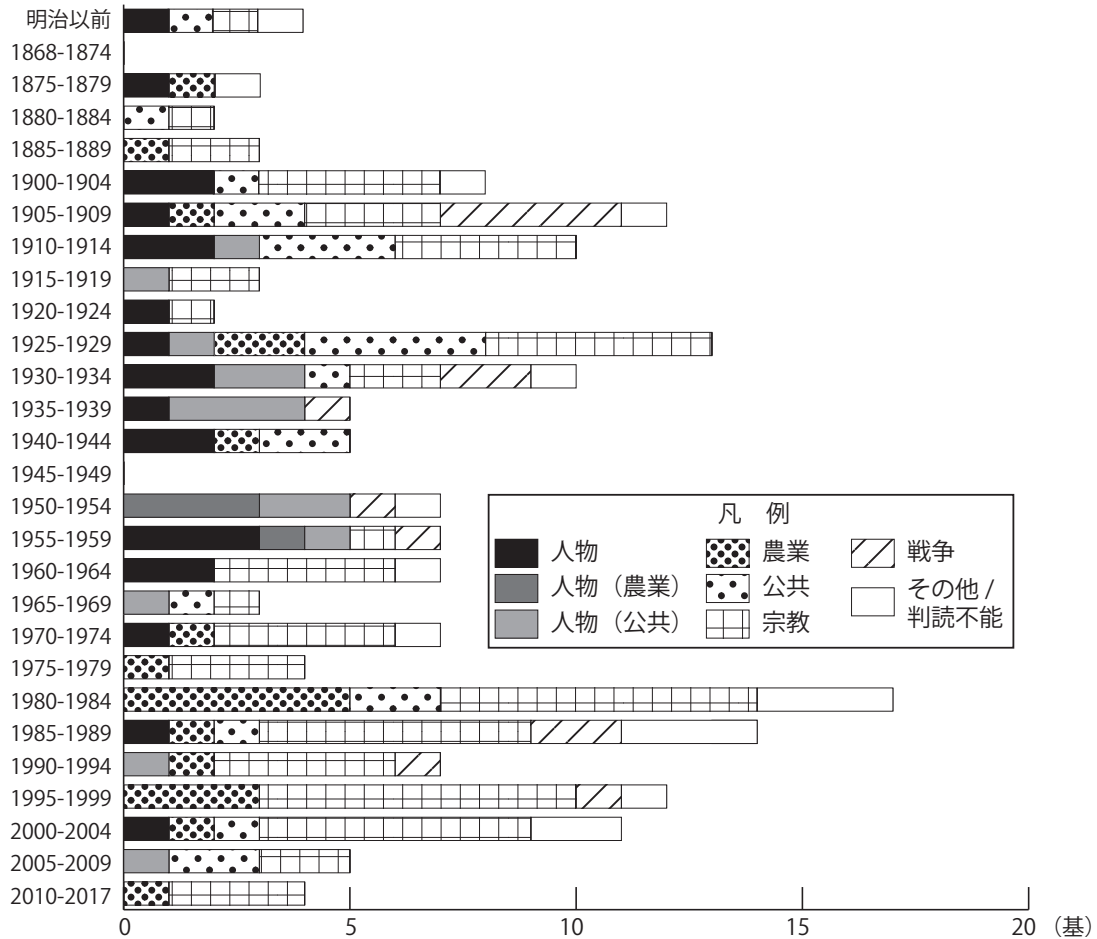


図2 属性別石碑建立数の推移

資料：現地調査より筆者作成

IV. 石碑の教材的意義とその活用方法

表3より石碑の教材的意義の分類ごとに石碑数をみれば、Aと評価した石碑は6基、Bは71基、Cは125基である。本章では、各分類において具体的事例を取り上げて、地域学習での活用方法を検討する。

1. Aに分類される石碑

Aに分類された石碑は、石碑から読み取れる情報量が豊富であり、その石碑のみで、学習指導要領の内容に即した社会的事象の理解が十分可能なものである。本節では、Aに分類された各石碑の概要と活用法を検討する。

石碑 168「沖田嘉市翁之碑」及び 180「中の峠隧道之碑」

石碑 168の碑文(図3b)から、東広島市西条町郷曾・田口の両地区にまたがる柏原地区では1)江戸時代から農耕を営むも水が足りず毎年のように干ばつ被害に遭っていたこと、2)沖田嘉市氏が深道池に水を引くための中の峠隧道の掘削を1927(昭和2)年より単独で開始したこと、3)1929(昭和4)年から70戸の農家が工事に加わり、巨額の費用を投じて昼夜を徹した作業を行ったこと、4)1930(昭和5)年に工事が完了し、皆が喜んだこと、5)工事の完了によって水不足が解消されたことの5つが読み取れる。加えて、

表3 教材的意義と立地場所別の石碑数

	寺社	公共施設	溜池	道路脇	その他	総計
A	1	1	3	1	0	6
B	29	17	12	12	1	71
C	72	26	3	18	6	125
総計	102	44	18	31	7	202

資料：現地調査より筆者作成。

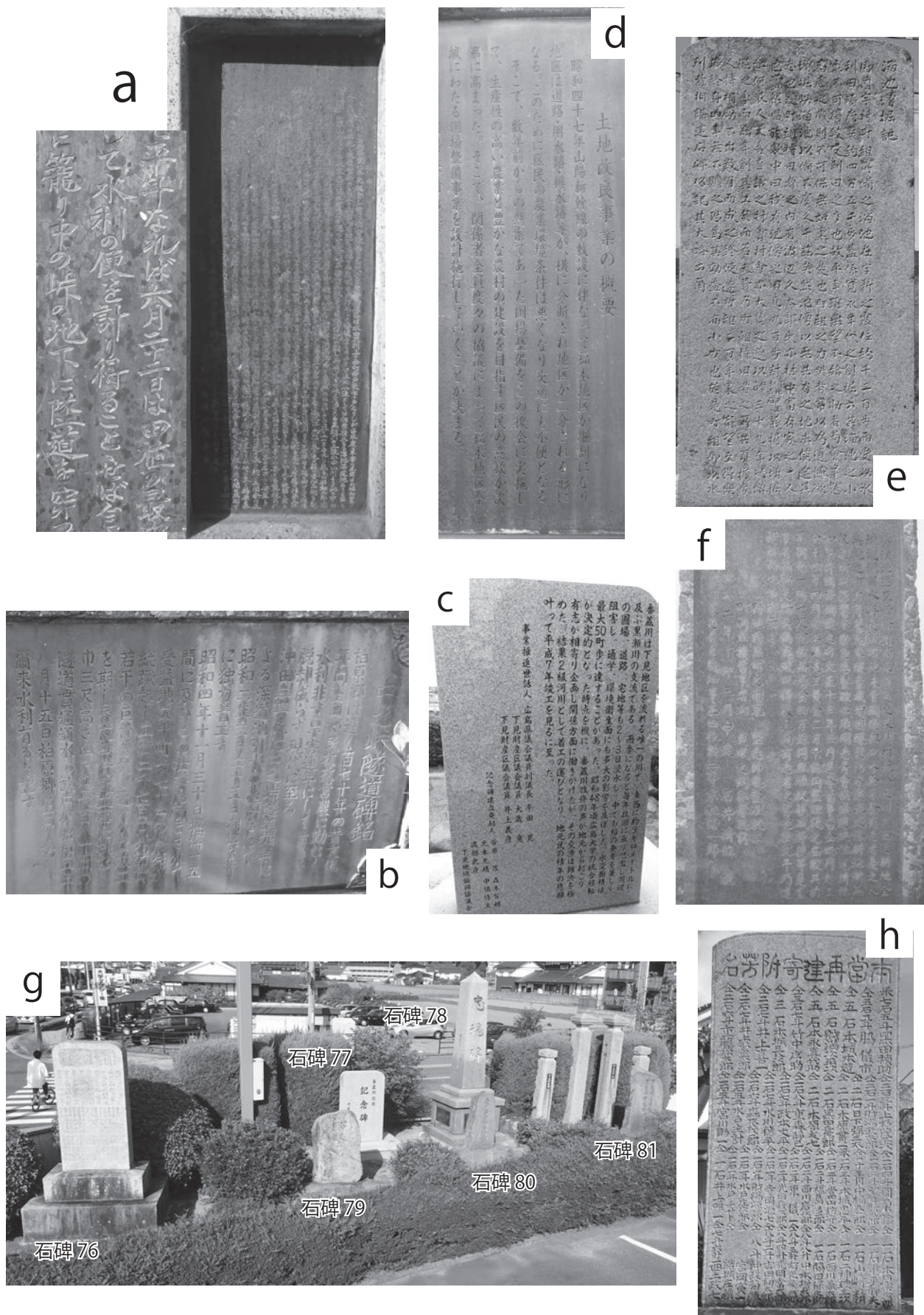


図3 教材的意義ごとの石碑とその碑文例

資料：筆者撮影。

注1：a；石碑168，b；石碑180，c；石碑77，d；石碑166，e；石碑102，f；石碑52，g；下見福祉会館に立地する石碑郡，h；石碑92。

注2：教材の意義について，a～fはA，gはB，hはCに分類される石碑である。

石碑 168 (図 3a) は工事を単独で開始した沖田嘉市氏を顕彰する石碑である。つまり中の峠隧道に関しては 2 回の顕彰が行われていることになり、中の峠隧道の掘削が、この地域にとって非常に重要であったことを示している。

学習の展開としては、石碑の内容から当時の地域の課題を見出し、それを解決した先人の働きや工夫を追究していく活動が考えられる。また毎年のように水不足で干ばつに見舞われていたという記載から、なぜ灌漑用水の不足という地域的な課題が生じていたのかを考えさせ、当該地区の地形的特色を追究していくような展開も可能である。発達段階に考慮しつつ、中学校や高等学校段階では地形図の読図などを行い上記の課題に迫ることで、児童・生徒の地理的技能や地理的な見方・考え方を育成していくことができると考える。

石碑 77「番蔵川改修記念碑」

石碑 77 (図 3c) は、東広島市西条町下見を流れる番蔵川改修の経緯を記したものである。碑文には、1) 番蔵川は毎年数回にわたり氾濫し、周辺の圃場、道路、宅地が数日間浸水する被害を受けていたこと、2) 浸水面積は 50 町歩に達することがあったこと、3) 稲作や環境衛生に大きな被害をもたらしたこと、4) 1973 年に広島大学の統合移転が決定的となったことをきっかけに、番蔵川改修の声が高まったこと、5) 地域の人々の努力の結果、1995 年に竣工に至ったことが記載されている。

学習の展開としては、水害に関する記載から、地域の人々にとって番蔵川の改修がどのような意味をもつのかを考えさせ、地形図の読図などから水害の要因となる地形的な特徴を検討する学習活動が考えられる。また、石碑 168 及び 180 で慢性的な干ばつが地域的な課題であったことが示された柏原地区と水害常襲地域であった下見地区を比較することで、互いに近い地域であっても、地形条件等の差異によって異なる地域的な課題が生じることを明らかにしていく展開も考えられる。

石碑 166「土地改良記念碑」

石碑 166 (図 3d) は、1972 (昭和 47) 年の山陽新幹線の敷設に伴って生じた地域的な課題とその解決のための土地改良事業の概要を示したものである。具体的には、1) 山陽新幹線の敷設によって旧西条町福本地区の道路、用排水路が分断され農業条件が悪化したこと、2) この地域的な課題を解決するために、圃場整備を行って農業の生産性を高めたことが記される。

新幹線の建設などの公共事業は、一般的に国民の社会生活の向上を目的に行われる。石碑 166 は、その

公共事業によって地域的な課題が生じたことを示す典型的な事例といえる。この石碑を活用することで、広範な地域における交通便利性の向上と地域の農業の課題という複数の視点から学習を行うことができるため、社会事象を多面的・多角的に考察していくことのできる教材といえよう。また国土地理院の提供する「地図・空中写真閲覧サービス」を利用し、土地改良事業前後の変化を読み取る活動を行うことで、地域の様子の変化を学習する展開に発展させることも想定される。

石碑 102「渡辺久太郎君之碑」

石碑 102 (図 3e) は、溜池の建設によって慢性的な水不足という地域的な課題の解決に尽力した渡辺久太郎氏を顕彰した石碑である。碑文からは、1) 耕地の広さに見合った大きさの溜池がなく水不足であったこと、2) 地主であった渡辺久太郎氏が溜池建設のために自身の耕地を寄附したこと、3) この溜池建設によって長年の課題であった水不足が解消されたことが読み取れる。

学習の展開としては、石碑 168 及び 180 と同様、当時の地域の課題とそれを解決した先人の努力、灌漑用水の不足が生じる要因を追究していく活動が考えられる。さらに、水不足という同様の地域的な課題を抱えた石碑 168 及び 180 と石碑 102 の地域を比較し、旧西条町に広範囲にみられる地形的特色を追究していくような展開も可能である。また広島県は溜池数が全国 2 位であり、東広島市全体には約 4500 個の溜池が分布する。これらの石碑の事例から、市や県全体の特色に学習を発展させていくこともできよう。

石碑 52「頌功碑」

石碑 52 (図 3f) は、用水路の整備と公害の解決という地域的な課題とその解決を顕彰するものである。碑文には、1) 用水路の整備が地域の長年の課題であったこと、2) 西条の酒蔵から流れ出る汚水が耕作地に染み込み収穫量が減少してしまったこと、3) これらの解決のために地域住民が中心となって圃場整備を行ったことが記される。用水路の整備という問題だけではなく、酒造という地域の産業の発達によって汚水問題が引き起こされたことが読み取れ、産業の発達と環境問題 (公害) の関係性を示している点が、この石碑の特徴である。

この石碑は、環境問題を扱う単元や、小学校第 4 学年で設定されているごみや下水などの廃棄物の処理に関する内容を扱う単元での活用が想定できる。この石碑の碑文から、廃棄物の処理施設の学習への関心を高めたり、企業の地域環境への配慮の必要性、さらには地域的な課題の解決に向けたあるべき市民像を追究する

学習へつなげることが可能であろう。

2. B に分類される石碑

B に分類された石碑は、寄附者名しか記載されていないなど、石碑から読み取れる情報量が少なく、単一の石碑の属性や内容のみでは社会科の授業で活用することが難しい。そこで同じ場所に立地する他の石碑と関連させるなどして、社会科での活用の方策を探りたい。

ここでは、公共施設である下見福祉会館に集中する石碑(図3g)の活用を事例として取り上げる。下見福祉会館は下見小学校と下見村役場の跡地に建設されたコミュニティセンターである。下見福祉会館に立地する石碑(石碑76～81)のうち、石碑76, 80, 81は小学校と村役場が過去に存在していたことを示す石碑である。石碑78は、聞き取り調査⁴⁾によれば、建立当初は現在の位置にあったが、終戦直後にアメリカ軍の要請を受けて近くにある明顕寺へ移設したという。これは小学校と村役場という教育を担う場所や中心地に、戦争の被害を顕在化させる石碑が存在することをアメリカ軍が忌避したためと考えられる。なお、その後明顕寺から移設の申し出を受け、2015年に現在の位置に移されたという。石碑79は当初現在の広島大学の場所にあった山中公園に建立されたものの、1980年代から始まる広島大学の統合移転に伴い、現在の位置に移転されたものだという。聞き取りでは、石碑の移転先として下見福祉会館を選んだ理由として、1)この場所が下見財産区の所有地であったこと、2)多くの人が利用する場所であり人目に付きやすいことがあげられている。同様の理由で、石碑77は、この場所に関連する石碑ではないものの、この位置に建立されたという。このように、地域にとって重要であった場所であり、現在でも多くの地域住民が利用するという公共施設が存在することが、石碑が集中する要因となったといえる。

これらの石碑を活用した学習の展開として、以下の2つが考えられる。1つは、かつて存在した小学校と村役場に関連する石碑を使用して、時期の違いによる地域の様子を追究していく展開である。これらの石碑を用いて下見福祉会館の位置する場所に、下見小学校と下見村役場が存在していた場所であることを気付かせ、両者が存在していた時期の地域の様子と、下見福祉会館が建設された時期の地域の様子を比較する学習を行うことで、地域の変化を身近なものとして捉え追究していくことができる。もう1つは、石碑78, 79, 81を取り上げて、下見福祉会館に石碑が集中する理由を考えさせたり、下見福祉会館がどのようなところ

なのかについて調べたりする展開も想定できる。さらに、地域の住民からのインタビューで石碑建立や移設の経緯を追究していくことで、公共施設の場所と役割について理解させることができると考える。

3. C に分類される石碑

C に分類した125基の石碑のうち、半数を超える72基が寺社に立地する(表3)。C に分類される石碑は、石碑の情報量だけでなく、記載内容の面からも社会科教材としての活用が難しいと評価した石碑である。そこで本節では、寺社に立地する石碑(図3h)を事例として取り上げ、石碑が集中して分布する場所に注目することで、この問題点の克服を試みたい。

寺社に立地する石碑の特徴として、対象地域に存在する石碑の半数が寺社に立地していることや、「宗教」の属性をもつ石碑が大半を占めること、表1より石碑の建立年から寺社に関する寄附が現在までみられることなどが挙げられる。つまり、過去から現在に至るまで、寺社は地域の人々の拠り所となる場所であることがわかる。このことから考えられる学習展開として、多くの人が寄附をしたり、拠り所としたりする寺社は人々にとってどのような存在(施設)であったのか、なぜ多くの人が寄附をしているのかを追究していく展開が考えられる。学習の導入段階などで寺社への寄附を記す石碑や石碑の寺社への集中を示すことで、これらの学習課題を児童・生徒につかませることができよう。加えて、寺社に位置する石碑の分布に注目させることで、身近な地域に古くから残る寺社の空間的な広がりや寺社と人々との関わりを関連づけて考えさせたり、寺社の歴史を調べさせたりする活動に発展させることも可能であろう。

V. おわりに

本稿では、広島県東広島市旧西条町を事例に石碑の分布と特徴を明らかにし、社会科の学習への活用と教材的意義について検討を行った。本稿で明らかになったことは以下のとおりである。

(1) 旧西条町内で合計202基の石碑を確認した。石碑数が最も多い属性は、寺社への寄附に関する「宗教」であり、「人物」、「公共」、「農業」、「戦争」と続く。立地別の石碑数では、寺社が最も多く、公共施設、道路脇、溜池、その他と続く。同一の場所に複数の石碑が集中して立地しているものが多くみられ、特に寺社や公共施設において集中する。

(2) 石碑の属性と碑文の変遷から3つの時期に区分した。第一期は1945年以前であり、地域社会に貢献した人物や公共事業への寄附を顕彰する石碑、戦争

犠牲者を慰霊する石碑の建立が見られる。第二期は1945～1979年の期間であり、「人物」の属性をもつ石碑建立が減少し、「宗教」の属性をもつ石碑の割合が増加する。第三期は1980年代以降で、1980年代の土地改良事業に伴う「農業」関連の石碑の増加、「戦争」碑の慰霊から平和記念という変化、「宗教」に関連した石碑の増加が認められる。

(3) 石碑の教材的意義と活用については、1) 社会科における教育内容への適合、2) 碑文の情報量という2つの観点から、教材的意義を、内容と情報量ともに十分(レベルA, 6基)、内容は十分であるが、情報量が不十分(レベルB, 71基)、それ以外(レベルC, 125基)の3つに分類した。Aの碑文の概要と碑文の内容から考えられる学習展開を検討し、地域の抱える課題やそれを解決した先人の働きや工夫などを追究していく活動が可能であることを指摘した。さらに、発達段階に応じて、石碑から読み取れる地域的課題を生み出した要因や地域性を追究していくという学習の発展性も認められた。Bに分類される石碑については、石碑の立地に着目して活用法を検討した。下見福祉会館に立地する石碑の検討により、地域の変化と公共施設の場所と役割を追究できる教材であることを示した。Cに分類される石碑については、このような石碑が集中して分布する寺社に立地する石碑に着目することで、身近な地域に古くから残る寺社の空間的な広がりや寺社の歴史、寺社と人々との関わりを追究する活動を行うことができる可能性を指摘した。

石碑のもつ一般的な特質として、羽賀(1998)や上杉(2009)、羽鳥(1977)などの研究から1) 当時の地域の人々にとって重要な事柄が石碑として顕彰される、2) 石碑の建立によってその場所が意味づけられ、地域のアイデンティティのシンボル・拠り所として保護されていく、3) 石碑が位置する場所そのものに意味がある場合があるの3点が抽出された。本研究対象地域では、用水路の整備や河川改修、公害問題の解消などの地域的な課題を解決したことを示す石碑や、学校や役場、寺社などの地域の中心地として重要な機能をもっていた施設を記念する石碑が多くみられ、先行研究で指摘された石碑の一般的な特質と同様の特質を示していた。加えて、これらの特質をもつ石碑は、社会科の地域学習において高い教材的価値をもつことが明らかとなった。各地域に建立されている石碑を活用することで、社会科における「地域学習」不振の要因のひとつである、地域に即した資料の不足の改善の一助になるといえよう。今後の課題として、調査

した石碑を用いた単元の開発と授業実践を行い、その教育的効果を検証していく必要がある。

【付記】

本稿の作成にあたり、三ツ城自治協議会や下見福祉会館の職員の皆様には、有益な情報を提供していただきました。現地調査に関しては、地域住民の皆様にご協力をいただきました。また、匿名の査読者および編集委員の方には、適切かつ有益な指摘をいただき、本稿は大きく改善されました。記して感謝いたします。

【注】

- 1) 文部科学省 HP (2017年7月20日閲覧)
http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm
- 2) 本稿でいう『公共施設』は、次期学習指導要領解説社会編に例示されているものである。具体的には、学校や公園、公民館、コミュニティセンターなど、多くの人々が利用したり、人々のために活動したりしている施設を指す。
- 3) 文部科学省 HP (2017年8月22日閲覧)
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/004/siryu/_icsFiles/afieldfile/2016/08/29/1376580_3.pdf#search=%27%E5%AD%A6%E7%BF%92%E6%8C%87%E5%B0%8E%E8%A6%81%E9%A0%98+%E6%94%B9%E5%AE%9A+%E4%BB%A5%E9%99%8D%E3%82%B9%E3%82%B1%E3%82%B8%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%83%AB%27
- 4) 以下の2名に聞き取り調査を行った。91歳(大正15年生)、男性、下見地区出身。77歳(昭和15年生)、男性、下見地区出身。

【文献】

- 池 俊介(2012): 地理教育における地域調査の現状と課題. E-journal GEO, 7(1), 38-42.
- 上杉和夫(2009): 過去の世界をめぐる認識・知識・想像力. 竹中克行・大城直樹・梶田 真・山村亜希編: 『人文地理学』ミネルヴァ書房, 199-213.
- 卯花政孝(1991): 三陸海岸の津波石碑(その1)―釜石地区―. 津波工学研究報告, 8, 171-229.
- 小山耕平・熊原康博・藤本理志(2017): 広島県内の洪水・土砂災害に関する石碑の特徴と防災上の意義. 地理科学, 71(1), 1-18.
- 高橋基文(2015): 小学校の授業6年増毛町と戦争: 忠魂碑を入口にして. 歴史地理教育 840, 40-45.
- 竹内裕一(2012): 地域調査. 日本社会科教育学会編: 『新版社会科教育事典』ぎょうせい, 116-117.
- 羽賀祥二(1998): 『史跡論―19世紀日本の地域社会と歴史意

- 識一』名古屋大学出版会.
- 羽鳥徳太郎(1977):『歴史津波—その挙動を探る—』海洋出版.
- 東広島郷土史研究石造物研究会(2015):『東広島市の石造物』東広島郷土史研究石造物研究会.
- 東広島市教育委員会(1983):『東広島市の文化財 石造物(Ⅱ)』東広島市教育委員会.
- 間森誉司(2011):小4社会科の1時間目の授業はこうする 学校内の「石碑めぐり」で地域への関心を一気に広げる. 歴史地理教育, 772, 16-21.
- 文部科学省(2008):『小学校社会科学習指導要領 社会編』東洋館出版社.
- 文部科学省(2014):『中学校社会科学習指導要領 社会編(平成26年1月 一部改訂)』日本文教出版株式会社.
- 文部科学省(2017a):『小学校社会科学習指導要領 社会編』文部科学省 HP (2017年7月20日閲覧).
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2017/09/27/1387017_3.pdf
- 文部科学省(2017b):『中学校社会科学習指導要領 社会編』文部科学省 HP (2017年7月20日閲覧).
http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2017/08/24/1387018_3_1.pdf
(2017年8月31日受付)
(2017年12月6日受理)